

テーマ

次世代 e-ラーニングに向けて

適用
分野

次世代 e-ラーニング、配信システム
利用の e-ラーニング

研究
名称

e-ラーニング システムに関する研究

氏名
所属

篠田有史 准教授
全学共通教育センター

内容

●特徴

実際の学校において、教育者は、ある学習者の過去・現在の状況を把握し、該当する課題における一般的な学習者に必要とされる知識・技能を考慮して、提示する内容を調整することで、学習者に適した方法で教育を実施していると考えられる。本研究は、その活動を e-ラーニング システムに実装するため、コンテンツの配信システムと配信されるコンテンツ、双方の改善によるアプローチを実施する。

●研究内容

コンテンツの配信システムの開発では、実際のデータを収集し、テストコンテンツの成績の変遷から、学習者の躓きを予測するモデルの構築を試みている。
さらに、従来は選択式や穴埋め式が多く見られたテストの自動採点を拡張し、記述式出題によってさらに多くの情報を収集するシステムを構築中である。文の自動採点では、出題分野における採点上の意味に着目した同義語辞書を準備し、入力文から木構造を構築して採点するシステムを開発している。



図 配信システム利用の e-ラーニング のイメージ

キーワード

e-ラーニング システム、コンテンツ、配信システム、次世代学びの場、自動採点、モデリング、データベース、記述式採点

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメントート ■ 共同研究